



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 藤倉化成株式会社
 コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-3436-1101

平成25年12月3日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,107	36.0	1,237	78.2	1,486	101.1	939	79.0
25年3月期第2四半期	26,547	2.5	694	△38.9	739	△34.1	525	4.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,137百万円 (357.2%) 25年3月期第2四半期 467百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	28.73	—
25年3月期第2四半期	16.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第2四半期	48,284		27,977		53.4	
25年3月期	45,604		25,768		53.1	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25,808百万円 25年3月期 24,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	28.1	2,600	85.4	2,900	79.5	1,800	13.3	55.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	32,716,878 株	25年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	38,168 株	25年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	32,678,710 株	25年3月期2Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項につきましては、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策・金融緩和政策への期待感から円安・株高が進行し、輸出企業を中心に業績の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、新興国の経済成長の鈍化や原材料価格の高騰、来春に控えた消費増税など国内景気を下振れするリスクを抱えており、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内では昨年上半期はエコカー補助金の実施を背景に販売が好調であったこともあり、昨年同期と比べ新車登録台数は減少いたしました。海外市場においては、自動車販売が好調な北米向けの自動車輸出台数が増加いたしました。住宅産業におきましては、来春の消費増税に備えた駆け込み需要や金利・住宅価格の先高感などを背景に、新設住宅着工戸数は前年を上回りました。エレクトロニクス産業におきましては、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末市場などは好調に推移いたしました。デジタル家電市場やパソコンなどを中心とした情報機器市場は需要の低迷から、厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は361億7百万円（前年同期比36.0%増）となり、営業利益は12億37百万円（同78.2%増）、経常利益は14億86百万円（同101.1%増）、四半期純利益は9億39百万円（同79.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車分野においては、国内市場では生産台数の減少から需要が前年同期を下回りましたが、海外市場での北米における需要が好調に推移したこともあり、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は105億3百万円（同17.9%増）となり、営業利益は5億39百万円（同79.9%増）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材を取扱う建築用塗料部門におきましては、新築向け市場では、受注の減少や価格の下落などにより売上高は前年同期を下回りましたが、リフォーム向け市場においては、施工棟数の増加により需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は65億78百万円（同11.1%増）となり、営業利益は4億28百万円（同8.8%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、主要な原材料である銀の建値の下落や、パソコン関連分野における需要低迷などにより、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は20億98百万円（同11.6%減）となり、営業利益は81百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどを取扱う機能材料部門におきましては、主力の粘接着剤ベースは前年同期と比べ横這いで推移いたしました。メディカル材料分野における需要の伸び悩みもあり、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は7億78百万円（同2.1%減）となり、営業損失は54百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などを取扱う化成品部門におきましては、主力ユーザー向けのトナー用樹脂の需要が在庫調整の影響により低調に推移し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は11億52百万円（同6.3%減）となり、営業利益は41百万円（同57.9%減）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、LED液晶テレビ向け関連製品が引き続き好調に推移したほか、コンビニエンスストア向けの建材製品も顧客の出店数の増加から需要が順調に推移いたしました。

この結果、売上高は150億74百万円（同103.7%増）となり、営業利益は2億2百万円（前年同四半期は営業損失58百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ26億80百万円（前連結会計年度末比5.9%）増加し、482億84百万円となりました。

① 流動資産

売上増加による売上債権及び未収入金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ16億58百万円（同6.0%）増加し、290億70百万円となりました。

② 固定資産

中国子会社の上海藤倉化成塗料有限公司の新規連結による有形固定資産の増加及びFujikura Kasei Coating India Private Ltd.増資による投資有価証券の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ10億22百万円（同5.6%）増加し、192億14百万円となりました。

③ 流動負債

子会社の運転資金調達による短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ6億71百万円（同4.8%）増加し、147億7百万円となりました。

④ 固定負債

社債の償還などの結果、前連結会計年度末と比べ2億円（同3.5%）減少し、56億円となりました。

⑤ 純資産

利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ22億10百万円（同8.6%）増加し、279億77百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の53.1%から53.4%へと0.3ポイント増加となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より48円61銭増加し、789円74銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、81億84百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が2億40百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益15億88百万円や減価償却費8億14百万円などにより、5億57百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は12億43百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億70百万円、無形固定資産の取得による支出2億23百万円などにより、10億50百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は8億88百万円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還により3億60百万円の支出、配当金により2億29百万円の支出などがあったものの、短期借入金の増加により8億14百万円の収入などがあったため、1億35百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は3億54百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、政府によって実施された経済対策の効果における円高是正に伴って企業の輸出環境が改善されるなど、緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、企業の経営環境は原材料価格の高止まりや来春に控える消費増税など、引き続き厳しい状況で推移していくものと思われま。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間において、コーティング事業の米国及び東南アジアにおける子会社の業績が好調であったほか、合成樹脂事業における販売も順調に推移いたしました。

第2四半期連結累計期間の実績及び最近の経営環境を踏まえ、平成25年8月9日に公表いたしました平成26年3月期通期連結業績予想を上回る見込みとなり、下記のとおり修正いたしました。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想 (A)	65,000	2,400	2,600	1,600	48.96
今回発表予想 (B)	69,000	2,600	2,900	1,800	55.08
増減額 (B-A)	4,000	200	300	200	—
増減率 (%)	6.2	8.3	11.5	12.5	—
前期実績 (平成25年3月期)	53,869	1,402	1,616	1,589	48.63

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(たな卸資産の評価方法の変更)

当第2四半期連結会計期間より、当社はたな卸資産の評価方法を、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）から、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更致しました。

この変更は、当社が平成25年7月に統合基幹業務システムを新規に導入したことに伴い、たな卸資産残高の確定手続きの効率化を図るために行ったものであります。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

また、この変更は、当社が平成25年7月に統合基幹業務システムを新規に導入したことに伴うものであるため、当第2四半期連結会計期間より変更しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,056,895	9,356,734
受取手形及び売掛金	12,897,005	13,031,286
商品及び製品	2,906,750	3,159,073
仕掛品	46,528	71,986
原材料及び貯蔵品	1,714,644	1,999,954
繰延税金資産	500,923	547,817
その他	460,713	1,086,778
貸倒引当金	△171,149	△183,362
流動資産合計	27,412,309	29,070,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,552,482	9,470,940
減価償却累計額	△4,381,068	△4,553,568
建物及び構築物（純額）	4,171,414	4,917,372
機械装置及び運搬具	10,592,580	10,870,330
減価償却累計額	△7,866,872	△8,210,953
機械装置及び運搬具（純額）	2,725,708	2,659,377
工具、器具及び備品	3,373,202	3,501,289
減価償却累計額	△2,875,464	△2,867,113
工具、器具及び備品（純額）	497,738	634,176
土地	4,220,328	4,307,090
リース資産	358,510	344,460
減価償却累計額	△209,709	△222,494
リース資産（純額）	148,801	121,966
建設仮勘定	33,124	111,708
有形固定資産合計	11,797,113	12,751,689
無形固定資産		
ソフトウェア	913,997	986,465
その他	861,678	939,382
無形固定資産合計	1,775,675	1,925,847
投資その他の資産		
投資有価証券	1,404,181	1,639,159
長期貸付金	60,303	54,319
繰延税金資産	1,112,164	957,820
その他	2,079,685	1,899,530
貸倒引当金	△37,194	△14,237
投資その他の資産合計	4,619,139	4,536,591
固定資産合計	18,191,927	19,214,127
資産合計	45,604,236	48,284,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,412,845	7,983,116
短期借入金	2,349,705	3,323,908
1年内償還予定の社債	720,000	610,000
未払法人税等	178,413	355,089
未払費用	778,627	754,085
賞与引当金	616,864	577,249
リース債務	76,466	59,706
その他	903,250	1,043,827
流動負債合計	14,036,170	14,706,980
固定負債		
社債	2,500,000	2,250,000
長期借入金	104,648	75,160
繰延税金負債	66,536	64,111
退職給付引当金	2,281,390	2,426,853
長期未払金	400,537	279,484
リース債務	87,259	70,899
その他	360,054	433,682
固定負債合計	5,800,424	5,600,189
負債合計	19,836,594	20,307,169
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	13,852,160	14,537,967
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	24,219,511	24,905,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,328	166,719
為替換算調整勘定	△82,771	735,641
その他の包括利益累計額合計	△443	902,360
少数株主持分	1,548,574	2,169,546
純資産合計	25,767,642	27,977,224
負債純資産合計	45,604,236	48,284,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,547,309	36,106,895
売上原価	19,706,994	28,228,827
売上総利益	6,840,315	7,878,068
販売費及び一般管理費	6,146,047	6,640,828
営業利益	694,268	1,237,240
営業外収益		
受取利息	3,815	7,121
受取配当金	22,264	17,201
固定資産賃貸料	33,257	33,653
為替差益	—	166,444
その他	65,588	98,137
営業外収益合計	124,924	322,556
営業外費用		
支払利息	45,671	43,743
その他	34,625	30,500
営業外費用合計	80,296	74,243
経常利益	738,896	1,485,553
特別利益		
退職給付制度改定益	131,942	—
負ののれん発生益	—	166,103
特別利益合計	131,942	166,103
特別損失		
固定資産除却損	—	47,046
投資有価証券売却損	—	16,232
投資有価証券評価損	30,875	—
特別損失合計	30,875	63,278
税金等調整前四半期純利益	839,963	1,588,378
法人税、住民税及び事業税	297,337	368,330
法人税等調整額	△14,180	135,206
法人税等合計	283,157	503,536
少数株主損益調整前四半期純利益	556,806	1,084,842
少数株主利益	32,123	145,848
四半期純利益	524,683	938,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	556,806	1,084,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,834	88,073
為替換算調整勘定	26,295	971,799
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,786	△7,300
その他の包括利益合計	△89,325	1,052,572
四半期包括利益	467,481	2,137,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,264	1,808,779
少数株主に係る四半期包括利益	42,217	328,635

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	839,963	1,588,378
減価償却費	726,418	813,798
のれん償却額	86,988	—
負ののれん発生益	—	△166,103
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△45,422	60,745
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,338	△51,694
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31,288	△24,242
受取利息及び受取配当金	△26,079	△24,322
支払利息	45,671	43,743
投資有価証券評価損益 (△は益)	30,875	—
有形固定資産除却損	1,220	49,553
売上債権の増減額 (△は増加)	△327,369	298,607
たな卸資産の増減額 (△は増加)	108,530	△306,554
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△12,882	△591,361
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	△1,833	△765
仕入債務の増減額 (△は減少)	86,514	△748,465
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,010	△66,599
未払消費税等の増減額 (△は減少)	38,808	△42,928
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△107,588	10,047
長期未払金の増減額 (△は減少)	△21,091	△121,053
その他	26,136	26,900
小計	1,422,799	747,685
利息及び配当金の受取額	26,079	48,068
利息の支払額	△46,604	△45,413
法人税等の支払額	△207,093	△239,653
法人税等の還付額	48,159	46,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,243,340	557,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△721,307	△941,405
定期預金の払戻による収入	601,243	721,322
有形固定資産の取得による支出	△582,672	△470,154
無形固定資産の取得による支出	△177,421	△222,854
投資有価証券の取得による支出	△47,451	△128,444
保険積立金の積立による支出	△84,596	△23,208
保険積立金の払戻による収入	112,109	38,415
その他	11,735	△23,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△888,360	△1,049,962

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	313,635	813,665
長期借入れによる収入	63,040	—
社債の償還による支出	△422,500	△360,000
リース債務の返済による支出	△41,589	△40,092
配当金の支払額	△228,751	△228,751
少数株主への配当金の支払額	△37,876	△49,559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△354,041	135,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,019	186,331
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△80	△171,223
現金及び現金同等物の期首残高	6,446,016	8,104,639
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	250,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,445,936	8,184,395

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	8,911,692	5,920,624	2,359,513	794,177	1,229,615	7,331,688	26,547,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	88	13,391	201	—	69,542	83,222
計	8,911,692	5,920,712	2,372,904	794,378	1,229,615	7,401,230	26,630,531
セグメント利益又は損失(△)	299,590	393,803	△24,123	△14,937	97,402	△57,603	694,132

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	694,132
セグメント間取引消去	136
四半期連結損益計算書の営業利益	694,268

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	10,503,344	6,578,366	2,079,275	777,523	1,151,757	15,016,630	36,106,895
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18,351	51	—	57,057	75,459
計	10,503,344	6,578,366	2,097,626	777,574	1,151,757	15,073,687	36,182,354
セグメント利益又は損失(△)	538,937	428,295	80,730	△53,810	40,991	202,130	1,237,273

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,237,273
セグメント間取引消去	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	1,237,240

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「建築用塗料」セグメントにおいて、連結子会社であるフジケミ近畿㈱の株式の追加取得を行い、完全子会社化したことにより、負ののれん発生益が生じております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、166,103千円であります。